

## 製品安全データシート

作成 2010年01月13日

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: ISOHAIR
製品コード	: 315-03403, 319-03401
	Kit の構成
	①Extraction Buffer
	②Enzyme Solution
	③Lysis Solution
	④Ethachinmate
	⑤3M Sodium Acetate (pH5.2)
	⑥TE (pH8.0)
会社名	: 株式会社ニッポンジーン
住所	: 富山県富山市問屋町 1-8-7
担当部門	: 研究試薬部 品質管理課
電話番号	: 076-451-6548
FAX 番号	: 076-451-6547

## 2. 危険有害性の要約

①Extraction Buffer (ドデシル硫酸ナトリウム) として記載	
人の健康に対する有害な影響	: 吸入又は経口摂取すると有害である。眼や粘膜に付着すると刺激がある。長期暴露により不快感、皮膚の炎症等を起こすことがある。
環境への影響	: 水生生物に対して毒性がある。生分解性良好。
物理的及び化学的危険性	: 通常の取扱いでは、危険性は低い。
GHS 分類	: 分類できない。

## 3. 組成及び成分情報

①Extracting Buffer			
単一製品・混合物区別	混合物		
化学名または一般名	ドデシル硫酸ナトリウム	尿素	塩化カルシウム・2水和物
濃度	1%	—	—
化学特性(化学式)	C <sub>12</sub> H <sub>25</sub> O <sub>4</sub> SNa	CH <sub>4</sub> N <sub>2</sub> O	CaCl <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O <sub>2</sub>
CAS 番号	151-21-3	57-13-6	10035-04-8
官報公示整理番号	化審法：2-1679	化審法：2-1732	化審法：1-176
危険有害成分	特になし	特になし	特になし
②Enzyme Solution			
単一製品・混合物区別	混合物		
化学名または一般名	Proteinase K		
濃度	—		
化学特性(化学式)	データなし		
CAS 番号	39450-01-6		
官報公示整理番号	特定されていない		
危険有害成分	特になし		
③Lysis Solution			
単一製品・混合物区別	混合物		
化学名または一般名	DTT		
濃度	—		
化学特性(化学式)	C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> O <sub>2</sub> S <sub>2</sub>		
CAS 番号	27565-41-9		
官報公示整理番号	特定されていない		
危険有害成分	特になし		

## ④Ethachinmate

単一製品・混合物区別	混合物
化学名または一般名	アクリルアミドポリマー
濃度	—
化学特性(化学式)	—
CAS 番号	—
官報公示整理番号	—
危険有害成分	特になし

## ⑤3M Sodium Acetate (pH5.2)

単一製品・混合物区別	混合物
化学名または一般名	酢酸ナトリウム 3水和物
濃度	3M
化学特性(化学式)	C <sub>2</sub> H <sub>9</sub> NaO <sub>5</sub>
CAS 番号	6131-90-4
官報公示整理番号	化審法：2-692
危険有害成分	特になし

## ⑥TE (pH8.0)

単一製品・混合物区別	混合物	
化学名または一般名	Tris-HCl 緩衝液	EDTA 溶液
濃度	10mM	1mM
化学特性(化学式)	データなし	データなし
CAS 番号	特定されていない	特定されていない
官報公示整理番号	特定されていない	特定されていない
危険有害成分	特になし	特になし

## 4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹸で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	: 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際には適切な保護具を着用する。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。 : ①環境中に放出してはならない。
回収、中和	: 漏出した液はウエス、雑巾または土砂等に吸着させてから空容器に回収し、こぼしたところを完全に拭きとる。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
 局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。  
 安全取扱注意事項 : 漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。  
 使用後は容器を密閉する。  
 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。  
 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。  
 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
 適切な保護具を着用する。

### 保管

- 適切な保管条件 : -20℃にて保管する。  
 技術的対策 : 特になし。  
 混触禁止物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。  
 安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。  
 管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない。  
 許容濃度 ACGIH (TLV) : データなし。  
 日本産業衛生学会 : データなし。

### 保護具

- 呼吸器の保護具 : 保護マスク  
 手の保護具 : 保護手袋  
 目の保護具 : 保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣

## 9. 物理的及び化学的性質

- 形状、色 : 無色透明な液体  
 臭い : ①②④⑥ : 無臭 ③ : DTT 独特の臭い ⑤ : 酢酸臭  
 pH : ⑤ : 5.2 ⑥ : 8.0 ①②③④ : データなし  
 融点 : データなし。  
 沸点(初留点) : データなし。  
 引火点 : データなし。  
 自然発火温度 : データなし。  
 爆発範囲(上限・下限) : データなし。  
 蒸気圧 : データなし。  
 比重 : データなし。  
 密度 : データなし。  
 溶解度 : 水と混合する。

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常条件では安定  
 危険有害反応可能性 : データなし。  
 避けるべき条件 : 日光、熱  
 混触禁止物質 : ① : 強酸化剤、強酸  
 危険有害な分解生成物 : データなし。

## 11. 有害性情報

- ドデシル硫酸ナトリウムとして記載  
 急性毒性 : 経口 ラット LD<sub>50</sub> : 1288mg/kg<sup>1)</sup>

---

皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚	ヒト	25mg/24 時間	軽度 <sup>1)</sup>
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし。			
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データなし。			
生殖細胞変異原性	: データなし。			
発がん性	: データなし。			
生殖毒性	: データなし。			
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: 眼、皮膚及び気道を刺激する。 <sup>2)</sup>			
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	: 反復または長期の皮膚への接触により、皮膚炎を引き起こすことがある。 <sup>2)</sup>			
吸引性呼吸器有害性	: データなし。			

---

## 12. 環境影響情報

ドデシル硫酸ナトリウムとして記載				
生態毒性	: 甲殻類(オオミジンコ属)	EC <sub>50</sub>	: 1.8mg/L /48H <sup>3)</sup>	
残留性・分解性	: データなし。			
生体蓄積性	: データなし。			
土壤中の移動性	: データなし。			
その他のデータ	: log Pow : 1.6 <sup>2)</sup>			

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却法 少量ずつオガクズ等の可燃物に吸収させて、開放型の焼却炉で焼却 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業 者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切に 処分する事。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後処分する。

---

## 14. 輸送上の注意

国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、 荷くずれの防止を確実にこころう。

---

## 15. 適用法令

①Extraction Buffer (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載	
消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 第一種指定化学物質 No.275 (旧 PRTR 法では非該当品目 H21.9.30 まで)
注) PRTR 法変更に伴う届出について	
改正 PRTR 法に記載されている化学物質による排出・移動量の把握は平成 22 年 4 月からの開始であり、平成 21 年度 分の届け出は旧法に基づき非該当品目なので不要です。	

---

## 16. その他の情報

引用	原料試薬供給先から提供された MSDS
	1) RTECS (1985-1986)
	国際化学物質安全性カード
	2) ICSC : 0502
	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 HP 「化学物質総合情報提供システム」
	化管法対象物質の選定基準となった有害性データ 1-275
	3) IUCLID

---

- \*危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- \*本データシートは情報を提供するものであって、記載内容を保証するものではありません。